

1 題材設定の理由

- (1) 活動内容・項目
 - (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
イ よりよい人間関係の形成
- (2) 題材設定の背景及び児童の一般的な実態と現状

小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 特別活動編

＜第2章第2節 特別活動の基本的な性格と教育活動全体における意義＞より引用

小学校への入学当初においては、幼児期の自己中心性がかなり残っており、学校の中の児童相互の関係は、個々の児童の集合の段階にある。さらには、言うてよいことと悪いことについての理解はできるようになるが、感情的な言動等が多く、入学期に小学校生活や集団生活にうまく適応できなかったり、このことによって授業が成立しにくい状況が生まれたりすることなども考えられる。しかしながら、幼稚園教育要領の「人間関係」の領域などの教育や社会性を育む幼児期の教育では、友達との関わりを通して、互いの思いや考えなどを共有し、実現に向けて、工夫したり、協力したりする充実感を味わいながらやり遂げることもできるようになっている。そのため、第1学年については、幼児期の教育で養われた力を生かしながら、小学校における生活や人間関係に適応できるようにすることが大切である。

第1学年後半になると、教師を中心とする学級への所属感や一体感があらわれ始める。しかしながら、社会性に関する個の発達の差は大きく、グループで活動する児童も多く見られる一方で、他者と関わるよりも一人で過ごしたい児童や他者との関わりを苦手とする児童もいる。またグループで活動する際、他者の気持ちや感情を理解しようとする児童もいる一方で、自己中心的な関わりをする児童もいる。

2 指導目標

学習活動を通して、児童の相互理解を深めたり、よりよい関わり方を練習させたりしながら、友達とさらに仲良くしたいという思いを高める。

3 指導法・指導上の留意点

本時では、「ココロトーク」を用いた活動を通して、児童の相互理解を深めたり、友達へのよりよい関わり方をリハーサルさせたりすることをねらう。「ココロトーク」には、互いに自己開示しながら相互理解を深めさせることを目的とする構成的グループエンカウンターの一要素と、友達とのよりよい関わり方を練習させるソーシャルスキルトレーニングの一要素が含まれている。本時の活動を通して、今後も友達のことをさらに知りたいという思いと、友達とよりよく関わりながら生活していきたいという思いを引き出していく。

4 指導計画

- (1) 事前・事後指導
 - ＜事前指導＞ (なし)
 - ＜本時＞ 学級活動「ココロトーク」の授業を実施する。
 - ＜事後指導＞ (なし)
- (2) 教科指導等との関連
 - 道徳：内容項目－10 友情・信頼
友達と仲よくし、助け合うこと

5 本時の指導
 (1) 指導過程

本時のねらい		「コロコロトーク」を用いた活動を通して、互いのことを知ったり、友達へのよりよい関わり方を練習したりすることができる。		
段階	活動	活動の内容	指導上の留意点	【評価】・ ◇資料
導 入	アイス ブレイク 【10】	(1)「四つの窓」をする。	○教室の四隅に4色を掲示し、その中から自分が好きな色を示している場所に移動させる。その後、どうしてその色を選んだのかを理由を話し合わせ、同じグループの友達や全体で共有し、相互理解を深める。	◇掲示物 (四つの窓 あか・あ お・きい ろ・みど り)
	課題把握 【5】	(2)日頃の友達との関わりを振り返る。 ・友達ともっと仲よくなりたいな。 ・もっと友達のことを知りたいな。 (3)本時のめあてを設定する。 ともだちともっと なかよくなろう	○友達ともっと仲よくなるためには、お互いのことをもっと知ったり、相手を大切にしたりすることが大事であることを伝え、本時のめあてを設定する。	
展 開	エクサ サイズ 「コロコ ロトーク」 【20】	(4)「コロコロトーク」を行う。 ・いつもと違う話を友達とできて、友達のことがかもっと分かったよ。 ・けんかをしたときは、自分から「ごめんね」と言いたいな。	○全体で「コロコロトーク」の取り組み方を確認する。順番を守ったり、友達の話を上手に聴いたりすると、とても楽しく活動できることを事前に伝える。 ○自己開示が苦手な子に配慮し、言えないときには先生と相談したり、「パス」と言って次の人に順番を回したりしてもよいことを事前に伝える。 ○友達の話を上手に聴いたり、順番を守ったりしながら活動している児童を、適宜称賛していく。	◇ワーク シート (コロコロ トーク) ◇サイコロ ◇おはじき ◇掲示物 (コロコロ トーク) ◇モデリン グ用サイ コロ 【評価2】
終 末	振り返り 【10】	(5)本時の活動を振り返る。	○児童一人一人に本時の学習活動を振り返らせるため、振り返りカードへの記入の時間を十分にとった後で、全体での振り返りを行う。	◇振り返り カード 【評価3】 【評価1】

(2) 評価計画

【評価1】 知識・技能 ＜本時＞	【評価2】 思考力・判断力・表現力等 ＜本時＞	【評価3】 学びに向かう力・人間性等 ＜本時＞
友達と仲良くなるためには、いろいろな話をしたり、関わったりすることが大切なことを体験的に理解する。	自分のことを話したり、友達の話の聴いたりしながら、友達へのよりよい関わり方を考えることができる。	友達ともっと仲良くなりたいという思いや、学習した友達への関わり方を、今後の生活に生かそうとしている。

(3) 準備物

- ・ 掲示物（四つの窓 あか・あお・きいろ・みどり）
- ・ ワークシート（ココロトーク）
- ・ おはじき
- ・ モデリング用サイコロ
- ・ サイコロ
- ・ 掲示物（ココロトーク）
- ・ 振り返りカード

(4) 板書計画

ともだちと もっと なかよくなるよう	掲示物（ココロ トーク）
--------------------	--------------